

健康への光路 健康は御家庭唯一の寶です
 小兒靈藥 **消食散!** 家傳高貴
 ハンサキの **消食散** 藥劑配合
 御小供様の病氣一切に妙効有り

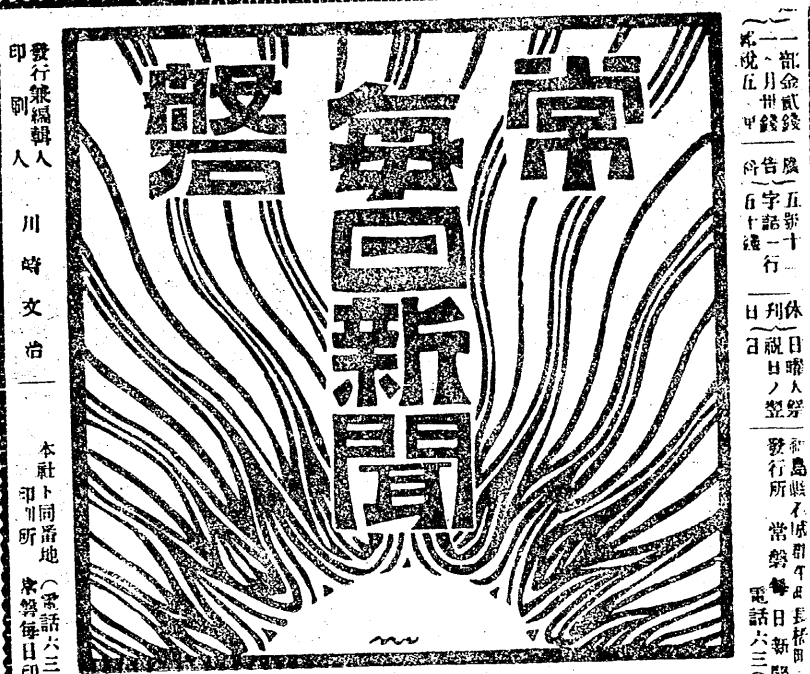
家傳靈藥 **消食散** 木幡製藥所
 調劑本舖
 取次販賣所 平町四丁目 勇屋はき物店
 電話三三七番

適應症主治
 小兒疳、胃腸加
 答兒、下痢人工
 營養兒、消化不
 良、食進み其他
 一般腸疾患に妙
 効を奏す

磐城みやげ として
 平みやげ 最も適當
 磐城みやげはお客様にキツトおしいと譽
 めて戴く事が出来ます

多少に不拘早速配達致します
 阿部源
 平町三丁目(電話特長五二七)

當地始めての
納涼園
 場所 平町一丁目横丁
カフエターヒラ
 電話六二二番



發行編輯人 川崎文治
 本社同前地(電話六三〇番)
 印刷所 東京毎日印刷所

一部金紙錢 五十一
 一月刊 日曜入券
 日祝日ノ空
 發行所 常盤
 電話六三〇番

刊夕日八月七

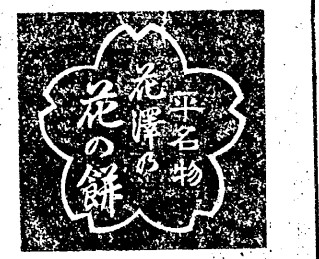
貸家 日當り風通し
 石島商會
 平町白銀町(電話六五〇)

雨近キ入梅期ニ
 通學ニ便利デ
防水マント
 女學生用モ有リマス

に鶴屋商店
 電話百四十番

釀造元
鶴仙
 石城郡平窪村
松吉屋本店
 電話二四一番

開業
 カフェーヒロキ
 本月拾日より乃木バー跡へ開店
 致します開店當日より**向七日間**洋食
 一品に付き**五錢割引**致します是非御
 試食の上御批評願います (店主敬白)
女給さん数名募集



あん餅で
東北一...
 鐵道省御用舖
 花澤四良司菓子店

賣れ行きが事實を證明する
 品質聲價共に拔群の!!
磐城セメント

和洋銅鐵 釜屋商店
 釜城平町五丁目 電話九番 一三九番
 ▲良品廉賣は勝る商畧なし▼
 ▲確實敏捷は釜屋の生命なり▼

内科(小兒科) 平町紺屋町
藤沼醫院
 電話四五七〇番

あふすの話 (五)
 羽岡老人

問題の中心點
 糞尿の危害と食物の危険と
 に付いて説明をしたが、實
 は大小便や食物の危険なの
 ではなく、其危険の本體は
 ちふす菌である、ちふす菌
 が居なければ大小便や食物
 は安全である、又ちふす菌
 が付いて居ても死んで居れ
 ば安全である、つまり消毒
 が出来て居れば傳染病院の
 使であつても安全で病氣を
 傳搬する恐れはないのであ
 る。然し其大小便の中に生

きたちふす菌が有るか無き
 かが問題である。
 ちふす患者の便中には菌が
 生きて居るから危険である
 だから之を消毒する、然し
 軽いちふすで醫師も本人も
 気が付かずに居ることがあ
 る、それでも矢張りちふす
 菌は便の中に出る、軽い患
 者から出た菌は強いとは限
 らぬ。次の人体に入ると強
 い病氣を起すかも知れぬこ
 んな場合には便の消毒をす
 る事がないから周圍に向つ
 て甚だ危険である。又ちふ
 す菌が治つて恢復する後まで
 もちふす菌が便に出る事が
 ある。其他一度もちふすに
 罹つた事がないのに、其便

の中、ちふす菌が出て来る
 人がある。是等は所謂保菌
 者で、ちふす流行の際には
 澤山あるのだから、ちふす
 患者の便だけを消毒しただ
 けでは安心する事が出来ぬ
 表面に届け出された患者の
 外に、患者同様危険な人物
 が可成り多数に隠れて居る
 ものと考へねばならぬので
 つまり一般の便所や食物は
 全体に油断のならぬ者とし
 て警戒せねばならぬ、蠅が
 危険なと云ふのは之れが
 ためである



カ ツ 目 さ る 大瀧問題の辯論 行政訴訟の公判

次回は十月一日……

係争中の小町上水道敷設に伴ふ大瀧発電所計割變更並に工事施行認可取消の行政訴訟は七日午前十時より行政裁判所第一法廷に第二回口頭辯論を開廷、清水裁判長、關口、澤田、阿部、王江の各評定官列席

原告側より辯護士岩田博士外一名被告側より里見地方事務官、新井技師、會社側の参加人猪俣博士他一名

出廷し、更に原告側より伏見町長

青沼録太郎、井上茂作、阿部政右衛門、松崎菊三郎、丹野榮三郎、渡邊貫一、大森勇の各水道委員は繁忙中に拘らず成行き如何を顧慮し自費を以つて上京傍聴し原告側は別項の如く互ひに論争十一時半閉廷、次回の辯論は十月一日午前と決定

辯護人狼狽

評定官の反問

右の行政訴訟に自由参加した中電氣會社代理の辯護士

里見事務官の危辯に委員達憤慨

平町を馬鹿にするか

大森氏其他肉迫

別項行政訴訟に於て被告側の里見事務官は「大瀧発電所は小田炭礦の自家用に電力を供給するものである、而して最も多くの電力を要するは坑内出水等の場合であるが、坑内に出水するが如き際は

辯論の一節

會社は平町の不同意を僞る

原告即ち平町側の辯護士岩田博士は本邦に於ける行政訴訟の第一人者として有名な學者であるが衆知の事實であるが別項大瀧問題の行政訴訟公判に於て立證の趣旨を明かにせんと力説した一節は左記の如くである

小田炭礦が大瀧発電所設置計割の認可を得たが右



庭家

夏向きの漬物

夏向きの漬物(一) 漬ける方 漬ける方 漬ける方

好問川

富くあつて少しも平町の水道に水不足の苦難を與へるものではないと電力が小田炭礦の自家用である事を論據として不當許可に非らざる旨の立證に努めたが小

原因

なにかと思はれます好き嫌ひを言つて食べぬことも非常によくないそうです云々と語つた

時節柄

水泳上の注意に就いて樺村平警察署長は語る「心臓の

水泳の注意

樺村署長語る

猪俣博士は平町は大瀧江筋から三分の水を取る権利はあ

傍聴中

委員は里見事務官が詭辯を弄せるものなりとし平町を愚弄せるも甚しと閉廷後大森委員を始め数名が里見氏に肉迫難詰したが種々諒解を求むる處あつた爲め大事を惹起するに至らなかつた

た協を申込む

大瀧問題の行政訴訟は平町の負けになると利権屋側は盛んに宣傳し充分に自分達の野望を達せしめ得るが如き口吻を洩らして居た然るに前日に於ても平町側に妥協を申込み来り手強く跳ねつけられたに拘らず今回の辯論に當つても閉廷後猪俣博士を通じて平町側の岩田博士に妥協を申込んで来た、穩健な岩田博士は二度目の

募集

石城郡赤井村大字赤井字深田葉子製菓業茂吉四男齋藤勝三郎(○)は七月午後六時家裏にて母親が鯉を料理し居たる處傍らの井戸端にて遊びに紛れ井戸の中に墜落溺死し平警察署巡査檢視した

遊びに紛れ

井戸に墜落 幼兒の溺死

赤井道路開通

郡赤井村大字鹽田より永戸村に通ずる道路は過般來開鑿中の處此程竣工した爲め來月十日頃を期して開通式を舉行する由

赤井道路開通

郡赤井村大字鹽田より永戸村に通ずる道路は過般來開鑿中の處此程竣工した爲め來月十日頃を期して開通式を舉行する由

軌道時間改正

那湯小名濱間軌道時間表は此程海水浴客の便を圖り午前四時四十分より午後は七時四十分まで一日十四回の運轉をなすことになり時間の改正が行れた

赤井道路開通

郡赤井村大字鹽田より永戸村に通ずる道路は過般來開鑿中の處此程竣工した爲め來月十日頃を期して開通式を舉行する由

赤井道路開通

郡赤井村大字鹽田より永戸村に通ずる道路は過般來開鑿中の處此程竣工した爲め來月十日頃を期して開通式を舉行する由

赤井道路開通

郡赤井村大字鹽田より永戸村に通ずる道路は過般來開鑿中の處此程竣工した爲め來月十日頃を期して開通式を舉行する由

事でもあるから兎に角其意を平町に傳へて遣らうと云ふ事になつたが勿論平町委員の多数は今更ら利権屋の奥の手には乗らぬと妥協を望んで居ない

平水道工事費

寄 褒狀下賜 白井氏外四名

募集

石城郡赤井村大字赤井字深田葉子製菓業茂吉四男齋藤勝三郎(○)は七月午後六時家裏にて母親が鯉を料理し居たる處傍らの井戸端にて遊びに紛れ井戸の中に墜落溺死し平警察署巡査檢視した

遊びに紛れ

井戸に墜落 幼兒の溺死

赤井道路開通

郡赤井村大字鹽田より永戸村に通ずる道路は過般來開鑿中の處此程竣工した爲め來月十日頃を期して開通式を舉行する由

赤井道路開通

郡赤井村大字鹽田より永戸村に通ずる道路は過般來開鑿中の處此程竣工した爲め來月十日頃を期して開通式を舉行する由

赤井道路開通

郡赤井村大字鹽田より永戸村に通ずる道路は過般來開鑿中の處此程竣工した爲め來月十日頃を期して開通式を舉行する由

赤井道路開通

郡赤井村大字鹽田より永戸村に通ずる道路は過般來開鑿中の處此程竣工した爲め來月十日頃を期して開通式を舉行する由

赤井道路開通

郡赤井村大字鹽田より永戸村に通ずる道路は過般來開鑿中の處此程竣工した爲め來月十日頃を期して開通式を舉行する由

赤井道路開通

郡赤井村大字鹽田より永戸村に通ずる道路は過般來開鑿中の處此程竣工した爲め來月十日頃を期して開通式を舉行する由

赤井道路開通

郡赤井村大字鹽田より永戸村に通ずる道路は過般來開鑿中の處此程竣工した爲め來月十日頃を期して開通式を舉行する由

榮城高女の榮養素研究

脚氣が減少

縣立榮城高等女學校寄宿舎では從來脚氣患者が續出する傾向あり之が原因について校醫の専門家家に依頼し調査の結果ビタミン不足の一因をなすが此の他に人体に必要な榮養素の一つ或は數個の缺乏によるものであること判明したので寮生に對し好き嫌ひの別なく各種の食物を與へる様にした結果最近に至り脚氣病をはじめ各種の病氣が著しく減少

水泳の注意

水泳上の注意に就いて樺村平警察署長は語る「心臓の

樺村署長語る

平町一丁目林謙太郎氏は五日二丁目裏山崎山崎館前にてサンゴ珠のカンザシ一オ、石城郡夏井村小野マツエは一日月見町にて一圓計錢在中の墓口、榮城中學校山崎山崎氏は去月廿二日城山にて金メダル一個、中町白銀町樋口謙三氏は廿二日平野貨物ホームにて三圓計八錢在中の黒草墓口を夫々拾得此程中署に届出でた

平町人事

出生 新川町一四林宗松氏三女トヨ子

死亡

△五丁目五根本喜一(三三) △田町四九兩内保太郎(五二) △北目町一五三内藤隆夫(三三)